

平成 21 年度緊急時対応訓練について（案）

1 平成 21 年度緊急時対応訓練の重点課題

平成 20 年度に実施した緊急時対応訓練の検証結果から、以下の事項を重点課題とする。

(1) 緊急時対応マニュアル等の実効性の向上

→ 緊急時における対応体制の確認及び緊急時対応マニュアルの検証等を行う。

(2) 効果的な広報技術の習得

→ 緊急時に食品安全委員会が記者会見を行うことを想定した模擬記者会見の実践など、効果的なメディアトレーニングを実施する。

2 平成 21 年度緊急時対応訓練計画について

|        |   |
|--------|---|
| 形 式    | 広報技術の習得を主体とした実動訓練   |
| ね ら い  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時対応マニュアル等の実効性の向上</li> <li>・ 効果的な広報技術の習得</li> </ul>                                     |
| 参加対象者  | 委員及び委員会事務局職員  |
| 活動内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急事態における意志決定、プレスリリース文や会見用資料の作成など様々な広報活動手順の確認（実動訓練）</li> <li>・ 模擬記者会見の実施（実動訓練）</li> </ul> |
| 実施予定時期 | 平成 21 年 11 月  |

3 平成 21 年度緊急時対応訓練の進め方について

(1) 訓練シナリオの作成に当たっての基本的な考え方

消費者庁設置（平成 21 年 9 月予定）後、初めての訓練になることから、リスク評価機関としての食品安全委員会の役割である国民への情報提供等について、前述の平成 21 年度緊急時対応訓練の重点課題を基本としながら、司令塔機能としての消費者庁との関係を踏まえ、消費者安全情報総括官制度の枠組みを想定したシナリオを作成し、事案発生から国民への情報提供までを時間経過など実態に近づけた訓練となるよう設計する。

(2) 訓練シナリオの作成について

訓練準備事務局会議において、過去に社会的反響が大きかった健康危害事例や平成 20 年度訓練などを踏まえ、訓練シナリオ作成上の参考となるモデル事例や危害要因別事例の検討及び選定を行い、それを基に訓練シナリオを作成する。

(3) 実施スケジュール (案)

| 年月            | 区分                   | 参加者     | 内容   |
|---------------|----------------------|---------|--|
| H21.9 月       | 食品安全委員会訓練<br>準備事務局会議 | 訓練準備事務局 | 訓練準備検討<br>(モデル事例等の検討)                                    |
| H21.9～10<br>月 | 食品安全委員会訓練<br>準備事務局会議 | 訓練準備事務局 | 訓練準備検討<br>(消費者庁との関係を踏<br>まえ、事態の時間経過に<br>即した訓練内容等を検<br>討) |
| H21.10月       | リハーサル                | 訓練準備事務局 | リハーサル  |
| H21.11月       | 緊急時対応訓練              | 訓練参加者   | 実動訓練   |
| H21.12月       | 総括会議                 | 訓練参加者   | 訓練総括   |